

「データセキュリティワーキンググループ」設立企画書

2020年3月4日

諸角 昌宏

本書は、データセキュリティワーキンググループ（以下、データセキュリティWGと記述）の設立にあたって、その概要および活動方針を示す。

1. 目的

クラウド環境に保存されるデータの保護は、クラウドセキュリティにおける重要なポイントである。また、クラウド環境（仮想化による論理境界、IaaS/PaaS/SaaS サービスモデルなど）ごとに、データの保護の仕方も様々に必要となる。CSAのクラウドセキュリティガイダンスにおいては、クラウド上のデータ保護として、アクセス管理、暗号化、鍵管理、モニタリング等の推奨事項が記載されているが、プロバイダのデータ保護対策の内容の把握、利用者側で取るべき対策、プロバイダが提供するデータ保護の機能の利用など、具体的な対応方法をガイダンスから読み解くことが難しい状況である。データセキュリティWGでは、このような課題に対してよりわかりやすい技術的な解説を行い、ガイダンスのデータ保護に関する解説書的な位置づけとなるようなアウトプットの作成を目指して活動していく。

データセキュリティWGの活動を進めるにあたって、包括的なデータ保護を議論する必要があり、特に責任境界が大きく異なるIaaS、PaaS、SaaSをカバーし、プロバイダの立場で利用者が利用できる機能を解説していきたいという観点から、会員企業のマイクロソフト様の協力をいただくこととする。なお、マイクロソフト様に中心的に活動していただくとともに、CSAジャパン会員にも幅広く参加を求めて、より良い活動にしていくこととする。

2. 活動方針

データセキュリティWGは、以下のポイントについて議論・検討を行い、解説書的なアウトプットを作成することを目標とする；

- ① CSAガイダンス4.0のDomain11（データセキュリティがらみ）およびdomain5/12（アクセス管理がらみ）で記載されている内容をもとに、以下の観点から、より詳細・明解に解説する。
 - クラウドプロバイダが提供するデータ保護機能の解説
 - クラウドにおける鍵管理の選択肢と有効性（BYOKを含む）と利用方法の解説
 - クラウドデータ保護で必要となるアクセス管理の方法および利用方法の解説
 - 今後に向けてのemerging technologyの調査・研究。

3. 活動計画

- ① 2019年度末(2020/5/31)までの活動
 - データセキュリティWG立ち上げ(2020年3月)

参加メンバー募集

- 活動方針のブレイクダウン、解説書の構成の検討の実施
- クラウドにおけるデータ保護の機能等に関する情報共有、WG 内勉強会の実施

② 2020 年度（2020/6/1～2021/5/31）の活動計画

- 第 1 弾アウトプット、内容検討、公開（2020 年 8 月）
- 公開後の活動については今後検討し、新たな活動計画とする。

4. 活動方法

- ① マイクロソフト様の TEAMS を利用した会議、ファイル共有を中心とし、必要に応じて実会議の開催を行う。

5. 活動にかかる費用

当面、データセキュリティ WG の活動に関する予算計画は持たない。

活動費用が必要になった場合に、事前に計画を立て運営委員会の承認を得ることとする。

6. 設立時メンバー（敬称略）

- ① データセキュリティ WG リーダー： 花村 実（マイクロソフト）
- ② 初期メンバー： 小町 紘之、武藤 健史、大井 喜智（マイクロソフト）
- ③ 事務局： 諸角 昌宏

以上